



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- ソナーデータのアップロードと解析データのダウンロードで5Gの低遅延伝送を活かすことで、海中での魚の移動量をリアルタイムに把握可能
- ドコモクラウド基盤を利用し、ソナーデータをAIで解析することで、瞬時に生け簀内の魚の状況が把握可能
- ソナーデータ+AIにより、余剰出荷・過剰給餌・作業の手戻りを削減し、SDGs時代の水産業発展に寄与

概要

- 養殖魚の出荷時、成育用の生け簀から出荷用の生け簀へと、出荷数量だけ魚を移動させる際、現状は海上にいる作業者が目視で移動量を確認していたが、出荷対象の魚は海中で移動されることから、目測での判断が難しく、作業の手戻り等の要因となっている。また、生け簀内の魚の成育状況の把握が困難である
- ソナーにより海中の魚の状況を測定し、測定データをドコモ・クラウド内のAIで解析することで、移動数量や成育度合いの測定、魚の個体長の識別を実施する
- 海中の光学カメラの映像を配信することで、人間による目視での確認を支援する

コラボレーションパートナー

安高水産は、愛媛県南宇和郡愛南町にて真鯛の養殖を行っており、通年出荷が可能で真鯛の養殖施設としては国内有数の規模。太平洋沖合に設置された広々とした生け簀、ハーブ配合の独自飼料を用いて育てられた真鯛は絶品。本ソリューションは養殖産業が長年取り組んでいる課題

にドコモも挑戦させていただく形で始まった。現地調査や業界内の情報共有など、様々な協力を頂いている

8

働きがいも
経済成長も

12

つくる責任
つかう責任

14

海の豊かさを
守ろう